

平成 13 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

【基本事務事業名】 交通安全運動の展開事業
【評価年月日】 平成 12 年 11 月 10 日
【主担当部課名】 生活課
【配入課名・課長名】 生活課長 宮村 由久

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : 安全な生活の確保 (- 1)
施策 : 交通安全対策の推進 (3)
総合計画の目標項目 : 交通事故死者数
波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 道路網の整備

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来)

県民に対し、四季の交通安全運動や交通安全キャンペーン等により県民のマナーアップを図り、交通事故を防止する。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

多くの県民が進んで交通安全運動に参加できるように、地域の交通情勢に対応した地域住民参加の運動の展開を通じて、県民一人ひとりが真の交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣付け、交通事故防止気運の醸成を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には * を付す)

交通事故死者数 *

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

運転免許保有者、交通量の増加。

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

交通事故死者数を 165 人以下とする。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

交通安全運動推進事業において四季の運動を展開するとともに、ワースト10脱却ワイルド地区事業で6都市に集中した重点対策を関係市・県警・関係団体と重点的に推進した結果、6都市の交通事故死者数は減少し、また全県的にも減少した。

前年度に残った課題

人身事故件数は過去最高となった。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

ワースト10脱却モデル地区事業、6都市に集中した重点対策を関係市・県警・関係団体と重点的に推進している。交通安全運動推進事業において四季の運動を展開している。

本年度残ると思われる課題

交通死亡者数、交通人身事故とも昨年を上回るおそれがある。

5 基本事務事業の改革方向

交通安全運動を包括的に進めるため、事務事業を統合した。

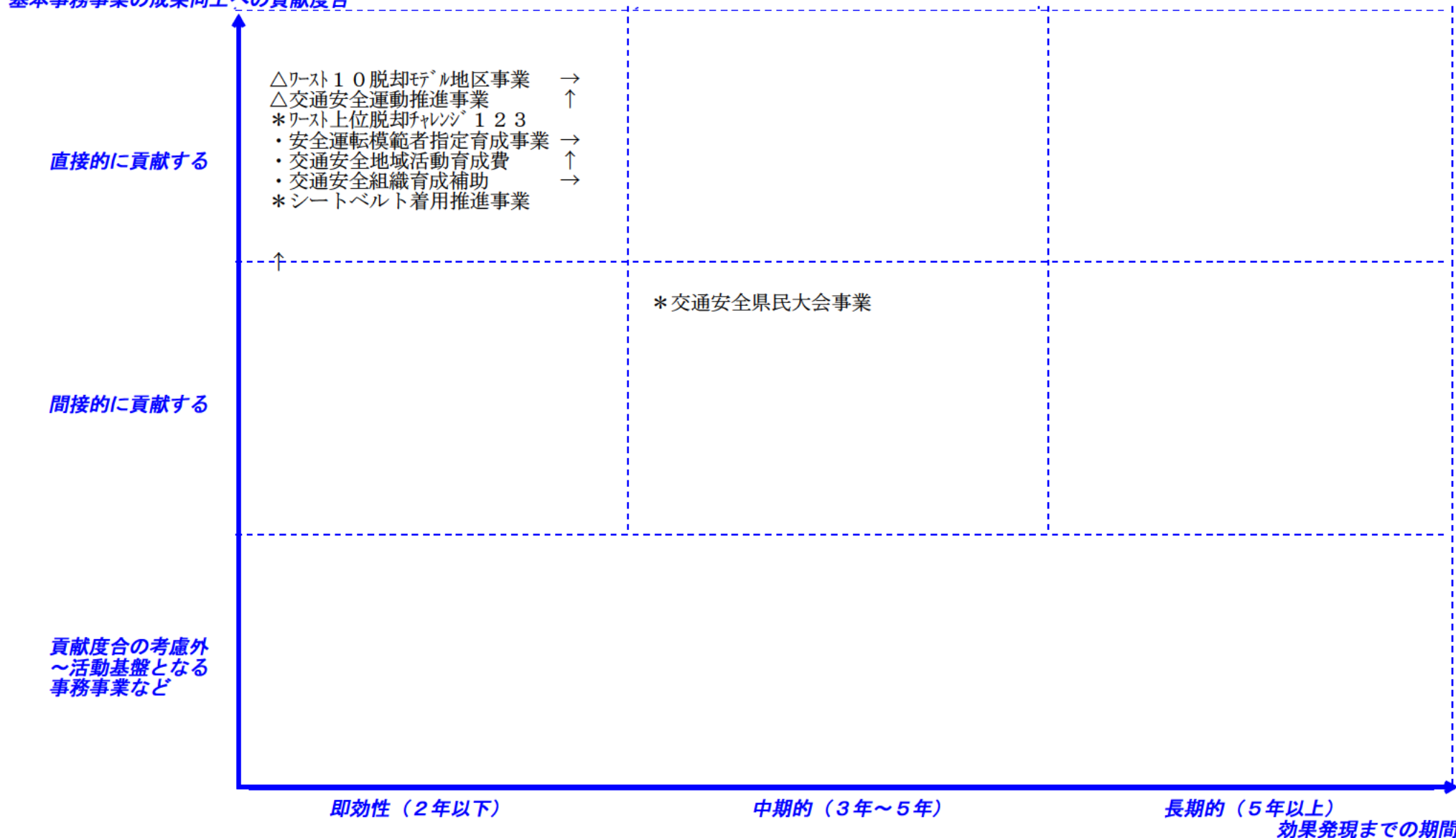
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円) 所要時間(時間)		必要概算 コスト(千円)
	目標	実績				
前々年度 (H10年度)		228人		23,041 10,337		66,954
前年度 (H11年度)		204人		22,430 13,227		77,322
本年度 (H12年度)	190人	——		17,425 11,618		66,105
本年度補正後 (H12年度)	190人			21,423 11,918		71,360
翌年度 (H13年度)		——	180人以下	15,994 11,470		64,053
計画目標年次 (H 年度)		——		——		——

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細
新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (± 千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (± 時間)
ワースト10脱却モデル 地区事業 (生活課)	交通事故死者数抑止度	県下の交通死者の約50%を占めている人口10万人以上のモデル6都市が中心となって交通事故の実態にあった諸対策を集中的に推進することにより、県民の交通モラル・マナーを向上させ、全国交通死亡事故ワースト10からの脱却を図る。	6,144	± 0	1,030	± 0
交通安全運動推進事業 (生活課)	交通安全運動成果実績率	従来の啓発型の四季の交通安全運動に、「参加・体験型」の交通安全教育・イベント・警察による指導、取り締まりを組み合わせ、インパクトのある交通安全運動を展開することにより、県民の交通安全意識の高揚を図る。	8,143	- 4,338	8,790	+510
交通安全県民大会開催事業 (生活課)	交通安全リーダー意欲度	交通事故ゼロを目標に県民の交通安全意識を高揚するとともに、交通安全活動などに功労のあった個人及び団体の表彰を行い、広く県民の交通安全活動を促進する。	0	- 871	0	- 300
安全運転模範者指定育成事業 (生活課)	模範者育成度 × 意見発表度	「交通安全の保持に関する条例」に基づき、ドライバーの安全運転の励行を期するため、地域における交通安全施設の整備等について意見を述べるモニターの役割及びステッカーの表示による模範者として活動を進める。	188	- 72	380	- 300
交通安全地域活動育成費 (生活課)	交通安全ボランティア 資質向上度	ボランティアとして、地域で活躍できる交通安全指導者を育成するため、交通安全母の会等の役員及び市町村交通安全指導員等を対象に、交通安全指導者としての資質向上を図る研修会を開催し、地域での交通安全活動を推進するとともに、地域活動組織である三重県交通安全母の会連合会の運営と実施する事業に対し指導援助を行い、その育成強化を図る。	1,044	- 148	1,050	- 70
交通安全組織育成補助金 (生活課)	母親の交通安全実践者数	交通安全母の会等の結成を促し、会の運営に対し指導援助を行い、地域における母親の交通安全活動の充実強化を図る。	475	± 0	220	± 0